

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504538(P2005-504538A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-532628(P2003-532628)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/32	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	Z N A A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/32	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	39/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5

A 6 1 P	43/00	1 1 1
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

造血性障害を処置することができる候補化合物を同定するための方法であって、以下の工程：

i) 試験されるべき化合物と、以下：

a) 配列番号2のアミノ酸配列に少なくとも95%同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号2のアミノ酸配列を含むポリペプチド；

c) 配列番号1または配列番号3のヌクレオチド配列に少なくとも95%同一のヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチド；および

d) 配列番号1または配列番号3に示されるヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド；

からなる群より選択されるポリペプチドを含むサンプルとを、該ポリペプチドに対する該試験化合物の結合に適した条件下で合わせる工程；

i i) 該ポリペプチドに対する該試験化合物の結合を検出して、それにより該ポリペプチドに結合する化合物を同定する工程；

i i i) 工程i i)において選択された化合物を、該ポリペプチドを発現する前駆細胞とを合わせる工程；ならびに

i v) 該前駆細胞が成熟細胞に分化したか否かを決定し；これによって造血性障害を処置することができる化合物を同定する工程；

を包含する、方法。

【請求項2】

前記化合物は、低分子、ペプチドまたは抗体からなる群より選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ポリペプチドは、異種配列をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ポリペプチドに対する前記試験化合物の結合は、以下：

a) 競合結合アッセイ；

b) 免疫アッセイ；および

c) 酵母ツーハイブリッドアッセイ、

からなる群より選択される方法によって検出される、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ポリペプチドに対する前記試験化合物の結合は、該ポリペプチドの活性についてのアッセイによって検出される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記サンプルは、単離されたポリペプチドまたは該ポリペプチドを発現する細胞からなる群より選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

造血性障害を調節することができる化合物を同定するための方法であって、以下の工程：

i) 試験されるべき化合物と、以下：

a) 配列番号2のアミノ酸配列に少なくとも95%同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号2のアミノ酸配列を含むポリペプチド；

c) 配列番号1または配列番号3のヌクレオチド配列に少なくとも95%同一のヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチド；および

d) 配列番号1または配列番号3に示されるヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド；

からなる群より選択されるポリペプチドを含むサンプルとを、該ポリペプチドに対する該試験化合物の結合に適した条件下で合わせる工程；

i i) 該ポリペプチドに対する該試験化合物の結合を検出して、それにより該ポリペプチドに結合する化合物を同定する工程；

i i i) 工程i i)において選択された化合物を、該ポリペプチドを発現する前駆細胞とを合わせる工程；ならびに

i v) 該前駆細胞が成熟細胞に分化したか否かを決定し；これによって造血を調節することができる化合物を同定する工程；

を包含する、方法。

【請求項8】

前記化合物は、低分子、ペプチドまたは抗体からなる群より選択される、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記ポリペプチドは、異種配列をさらに含む、請求項7に記載の方法。

【請求項10】

前記ポリペプチドに対する前記試験化合物の結合は、以下：

a) 競合結合アッセイ；

b) 免疫アッセイ；および

c) 酵母ツーハイブリッドアッセイ、

からなる群より選択される方法によって検出される、請求項7に記載の方法。

【請求項11】

前記ポリペプチドに対する前記試験化合物の結合は、該ポリペプチドの活性についてのアッセイによって検出される、請求項7に記載の方法。

【請求項12】

前記サンプルは、単離されたポリペプチドまたは該ポリペプチドを発現する細胞からなる群より選択される、請求項7に記載の方法。

【請求項13】

造血性障害を有するか、または造血性障害を発症する危険性のある被験体を同定するための薬学的組成物であって、配列番号1または配列番号3のうちの少なくとも25個連続するヌクレオチドを含むハイブリダイゼーションプローブを含む、薬学的組成物。

【請求項14】

造血性障害を有するか、または造血性障害を発症する危険性のある被験体を同定するためのキットであって、該キットは、第1の増幅プライマーおよび第2の増幅プライマーを含み、該第1のプライマーは、配列番号1または配列番号3のうちの少なくとも25個の連続するヌクレオチドを含み、該第2のプライマーは、配列番号1または配列番号3の相補体に由来する少なくとも25個連続するヌクレオチドを含む、キット。

【請求項15】

造血性障害を有するか、または造血性障害を発症する危険性のある被験体を同定するため

のキットであって、該キットは、以下：

i) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチド；および

i i) 配列番号 2 のアミノ酸配列を含むポリペプチド
からなる群より選択されるポリペプチドに選択的に結合することができる抗体を含む、キット。

【請求項 1 6】

請求項 1 0 または 1 6 において同定された化合物を含む、造血性障害を有する被験体を処置するための薬学的組成物。